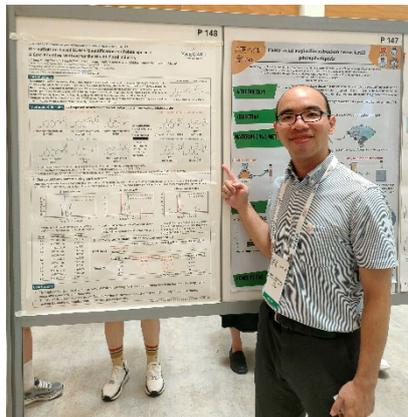


## 2024 IUFOST 学会報告書

ヤエガキ醗酵技研株式会社 王鴻誠

この度は IUFOST-Japan の若手研究者助成に選ばれ、イタリアのリミニに行われる IUFOST 国際学会に参加することになり、ありがとうございます。今回は「Derivatization-based LC-MS Quantification for Folate Species: A Cost-Effective Method for the Health Food Industry」をタイトルとしてポスター発表を行いました。来訪者は主に LC-MS を使用している研究者で、なぜ葉酸を誘導体化するのか、その目的、効果、応用などに非常に興味を持ってくれました。本研究では誘導体化により不安定の天然葉酸を安定化させることと内標準品の合成により、簡便かつ低コストが特徴とする天然葉酸の絶対定量を達成したとこのことを紹介しました。



ポスター発表の写真

他の研究については、愛媛大学の石田先生の発表した鰹節由来 *Aspergillus* から作った Neoechinulin A の抗アレルギー効果に対して、今後の応用および生産の可能性についてお話ししました。静岡大学の赤井さんが発表した深層学習と脳波分析の組み合わせによる機能性食品の脳機能効果評価技術は、まだ基礎研究の段階ですが、今後の機能性素材の脳機能評価を加速する可能性を期待しています。Young Scientist Award 講演では AI を用いて毒素分解酵素の構造やタンパク質物性の予測など、そのような AI が生命科学の応用についても勉強しました。そして、キノコの脳機能成分に関する動物実験の発表は、自分の研究に関わっていることがあり、今後研究の進み方もイメージすることができました。

また、出身国の台湾からの参加者も多く、非常に有意義の交流になりました。特に台湾の食品素材大手の葡萄王 (Grape King Bio.) の研究チームも参加することがあり、その会社の事業はキノコ素材、化粧品素材、機能性素材 (運動表現、脳、肝、中耳、眼など)、微生物

培養などの研究開発をやっており、弊社の事業と高度相似しています。先方の研究員と会社の研究体制、研究の取り組む方法や組織文化などを交流することができ、とても勉強になりました。今後のさらなる共同ビジネスの可能性を期待しています。



台湾代表団との集合写真